

令和7年度 洞爺湖町社会福祉協議会収支予算

令和7年度洞爺湖町社会福祉協議会予算（単位：円）							
サービス区分	今年度予算額	昨年度予算額	前年度比較	サービス区分	今年度予算額	昨年度予算額	前年度比較
法人運営事業	34,147,000	37,390,000	△ 3,243,000	共同募金配分金事業	1,477,000	1,485,000	△ 8,000
地域福祉事業	1,131,000	1,464,000	△ 333,000	介護予防事業	814,000	820,000	△ 6,000
移動支援事業	5,612,000	4,375,000	1,237,000	重層的支援体制整備事業	5,800,000	0	5,800,000
生活支援事業	13,215,000	6,267,000	6,948,000	ホームヘルプ事業	11,964,000	13,174,000	△ 1,210,000
ボランティアセンター事業	1,010,000	1,120,000	△ 110,000	施設清掃業務事業	975,000	2,909,000	△ 1,934,000
福祉金庫事業	550,000	550,000	0	合 計	76,695,000	69,554,000	7,141,000

「救急医療情報キット」・「ヘルプマーク」の配布を行っております！

●専用容器に入れ、自宅で保管します。

社会福祉協議会では、高齢者や障害者などの安心・安全を確保することを目的に、万一の緊急時に、かかりつけ医や既往歴・緊急時の連絡先などを、いち早く救急隊員に知らせることができる「救急医療情報キット」を配布しています。

詳しくは、洞爺湖町社会福祉協議会まで、お気軽にお問い合わせください。

＜使用のメリット＞

- 持病や服薬等の医療情報を確認でき、緊急の場合、救急隊員が適切で迅速な処置が行えます。
- 緊急連絡先が把握できます。

●ヘルプマーク・ヘルプカードとは？

ヘルプマーク・ヘルプカードとは、義足や人口関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方などが、外見からは分からなくても、「援助や配慮を必要としていること」を、周囲の人に知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたものです。交付に関しては、書類手続きや費用負担はありません。お気軽にお問い合わせください。

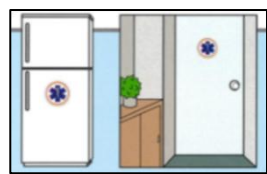
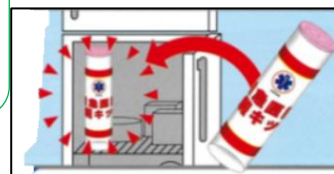
●ヘルプマーク及びカードの配布場所

洞爺湖町役場
・町介護高齢課 ・温泉支所 ・洞爺総合支所

健康福祉センターさわか内
・町健康福祉課
・洞爺湖町社会福祉協議会



- ＜専用容器に入れるもの＞
- ・薬剤情報提供書（写し）、
 - ・健康保険証の写し（マイナンバーカードで受診している場合は保管場所を記載）
 - ・救急医療情報カード
 - ・本人の写真などの情報



洞爺湖町

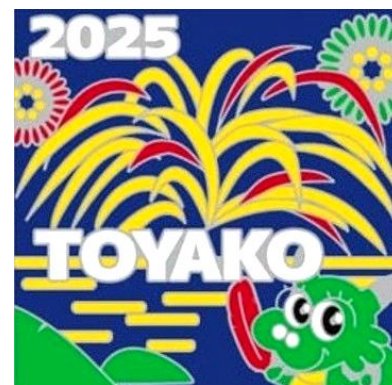
社協だより

令和7年8月発行（第63号）



町限定！ピンバッジが完成しました！

ご協力ありがとうございます



今年も10月1日から始まる共同募金運動に先駆けて、2025年度版の募金ピンバッジが完成しました。

ピンバッジは、500円以上の募金協力でお渡ししており、社会福祉協議会本所・洞爺支所、道の駅あぶた様、入江・高砂貝塚館様、洞爺湖温泉観光協会様、わかさいも本舗洞爺湖本店様、洞爺水の駅様、道の駅とうや湖様に設置しております。

ご協力の程、宜しくお願いいたします。



洞老連・ふる里の丘総合福祉館「ふれあい交流会」開催

7月7日、洞爺湖町老人クラブ連合会8クラブ40名がふる里の丘総合福祉館を6年ぶりに訪問し交流しました。

当日は食事のほか演芸発表と「青い山脈」の全員合唱も行われ、交流を深め賑わいました。

山田晃連合会長は、「本日のお招きと企画していただいた施設関係者の皆様並びにお手伝いをいただいたスタッフの皆様にも、深く感謝申し上げます。今後もより良い交流がまたできることを願っております」と御礼の言葉を述べました。



胆振身体障害者スポーツ大会

7月5日、白老町において、第51回胆振管内身体障害者スポーツ大会が開催されました。胆振管内の6支部から125余名が参加し開催され、ボッチャやモルックのほか、牛乳パックリレーや玉入れ等で競い合いました。

当支部からは会員12名が参加し、体力増進と交流を図り健闘しました。



発行：社会福祉法人 洞爺湖町社会福祉協議会

本 所：〒049-5604 虻田郡洞爺湖町栄町63番地1 健康福祉センターさわか内
電話76-4363 FAX76-4368 メール toyako-sha.abuta@jupiter.ocn.ne.jp
洞爺支所：〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町132番地2 洞爺ふれ愛センター内
電話82-5185 FAX82-5895 メール toyako-sha.tsutsuji@theia.ocn.ne.jp
ホームページ：http://toyako-shakyo.org

社協だよりは町民の皆様からの「社協会費」と「赤い羽根共同募金助成金」を活用して発行しています。



令和6年度 洞爺湖町社会福祉協議会事業報告と収支決算



令和6年度事業報告・収支決算 《福祉サービス》・移動支援サービス 1,266件
・配食サービス 659食 ・車椅子レンタル21台

・ふれあい交流会 548名 ・ホームヘルプサービス 946名 ・デイサービス 326名
《福祉事業》
・歳末助け合い見舞金贈呈 8世帯8名 ・65才以上名簿作成 ・一般募金協配分事業 総額1,198,000円
(5事業) ・社協広報誌 7月・9月・1月・3月発行(年4回) ・はつらつ号 偶数月発行(年6回)
・福祉金庫貸付相談 年間26件(貸付15件) ・生活福祉資金貸付相談 年間4件
・地域包括ケア会議への参加、周知協力 ・とうやこケアネットワーク協議会への参加
・四者連絡会議の開催 年間4回 ・第3層生活支援コーディネーター配置
・ボランティア研修会兼福祉委員研修会 ・洞爺湖町はつらつ協議体会議開催 ・包括支援センターとの打ち合わせ
・はつらつポイント事業(登録:11事業、ポイント手帳交付者 80名)
・手助け隊事業(ボランティア登録数40名、活動延べ数 660回)
・活動者座談会11月開催(8名) ・コグニの集い開催 全12回(76名)
・はつらつ楽習!脳の健康教室(前期・後期の2期) 修了者32名 学習・送迎サポーター10名



令和6年度洞爺湖町社会福祉協議会決算報告(単位:円)			
サービス区分	収入	支出	差引
法人運営事業	40,658,321	36,427,201	4231120
地域福祉事業	1,052,900	1,173,020	-120120
移動支援事業	3,908,510	3,841,055	67455
生活支援事業	7,228,000	7,017,804	210196
ボランティアセンター事業	861,731	807,485	54246
福祉金庫事業	726,346	774,417	-48071
共同募金配分金事業	1,349,387	717,687	631700
介護予防事業	734,876	685,587	49289
デイサービス事業	9,060,063	9,098,990	-38927
ホームヘルプ事業	11,366,165	11,539,885	-173720
配食サービス事業	2,878,100	2,825,036	53064
施設清掃業務事業	1,427,124	1,364,036	63088
合計	81,251,523	76,272,203	4,979,320

令和7年度 洞爺湖町社会福祉協議会事業計画

令和7年度重点項目 《基本方針》『やさしさあふれる健康福祉のまちづくり』

- より多くの地域の人たちに地域福祉活動に参画し、お互いに支え合い助け合う「やさしさあふれる健康福祉のまちづくり」をより一層目指すため、令和6年度に策定した「第3期洞爺湖町地域福祉実践計画」を実行することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活がいつまでも送れるよう、地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりを推進してまいります。
- 福祉相談に対するニーズは年々複雑・多様化しており、包括的支援体制の構築を念頭に、住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、課題を継続的に支援いたします。
また、相談窓口で待つだけではなく、積極的にアウトリーチいたします。支援にあたっては、本人らしい暮らしの実現に向け、既存の制度やサービスに単に繋ぐだけではなく、住民による福祉活動、ボランティア活動等のインフォーマルな社会資源とも連携してまいります。

- 認知症予防対策として効果が期待される「はつらつ楽習!脳の健康教室」、及び「コグニの集い」、「脳トレサロン」は、受講希望者は安定的に確保され、受講者からも大変好評を得ていることから、令和7年度も、学習支援サポーターやボランティア等の協力を得て継続して実施してまいります。
また、新たな取り組みとして、認知症予防はもちろん、引きこもりや健康・生きがいつくりとしての交流の場の確保として、男女年齢問わず参加が可能な「健康麻雀サロン」を新たに開設いたします。
- 「手助け隊事業」及び「はつらつポイント事業」は、社協が推進するボランティア事業の柱として着実に定着してきましたが、近年の問題点として支援の内容が多様化しており、更に助ける側の新たな確保が難しい時期が訪れることが予測されることから、地域活動において人材情報の収集や広報誌等によるボランティアの募集活動を通して、人材の確保に努め、安定したボランティア事業の推進ときめ細やかなサービス提供体制の構築を推進します。
- リサイクルの促進及び生活困窮者対策の一環として、不要となった学習机やシルバーカーなど、譲り受けた人と譲りたい人とのマッチングについて、支援を図ります。
- 近年、頻発する自然災害や将来の有珠山噴火災害に備え、地域の復旧・復興及び被災者支援に大きな役割を担う災害ボランティアセンターの設置・運営を円滑に推進するためにボランティア研修会の開催やボランティア人材の確保に努め、更に行政や福祉関係団体との連携強化を図り、安心して暮らすことのできる地域活動を推進します。また、地域共生社会の実現のためには、子どもの頃からの福祉教育やボランティア学習は大変重要であると考えことから、学校と連携を図り、「基礎知識」や「模擬体験学習」、「施設見学」などの取組みを推進します。

令和7年度実施事業

1. 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり(基本目標1)

- 相談支援体制の整備 ・総合相談(重層的相談を含む)の受付
- 情報提供体制の充実 ・社協だより等による情報発信及びホームページの充実
・「はつらつ号」によるボランティア情報等の発信
- 福祉サービスの充実 ・移動支援事業体制の充実・介護保険事業の実施(訪問介護事業)
・日常生活自立支援事業の取り組み・室蘭市成年後見センターとの連携による認知症高齢者の擁護 ・生活支援体制整備事業・福祉金庫貸付事業
・生活福祉資金貸付事業(北海道社協)への協力
・赤い羽根共同募金による福祉活動推進・各小中学校への活動支援
・歳末見舞金配分事業の促進支援・歳末見舞金事業への協力
・子どもの食育支援事業・あさのおにぎりやさん事業実施団体への協力、支援



2. 安心して暮らせる環境づくり(基本目標2)

- 地域共生社会の実現に向けた取組み ・高齢者の実態把握(65歳以上世帯調査の実施)
・手助け隊事業の充実強化(ボランティアの発掘・事業周知)
・リサイクルのマッチングサポート事業
・「鍵預かりサービス事業」の周知啓発・福祉委員活動の充実
- 緊急時の対応と推進 ・ヘルプマークの周知と推進に対する支援
・緊急医療情報キットの周知と推進に対する支援
・災害ボランティアセンター運営の充実
・災害ボランティアセンター設置・運営に係る協定の締結
- 災害時の支援体制の整備

3. ふれあいとつながりの場所づくり(基本目標3)

- ふれあいの場の充実・ふれあい交流会の開催
・長寿(傘寿)祝い品の贈呈・健康麻雀サロンの開設
・サロン活動運営に対する助言及び新規開設に向けた啓蒙啓発・ふれあい用具の貸出
- 介護予防の推進・介護予防教室(はつらつ楽習~脳の健康教室)の開催・コグニの集いの開催
・脳トレサロンの開催
- 情報の共有と一元管理・福祉関係団体との情報の共有・情報管理一元化の取組み

4. 福祉を支える人づくり(基本目標4)

- 福祉・人権教育と福祉に関する広報・啓発の推進・福祉協力校の指定
・中高生のボランティア活動の推進・ボランティア人材の発掘及びボランティア登録の促進
・ボランティア研修会等の開催
- 福祉関係団体等の活動の推進・福祉関係団体等との連携

